

# 熊本県土木部「ゼロカーボン社会 くまもと」実施要領

## 1 目的

熊本県では、「2050年県内CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ」(令和元年12月)を宣言し、令和3年7月策定の「第六次熊本県環境基本計画」において、2030年度に向けた新たな温室効果ガス削減目標を定め、4つの戦略<sup>※1</sup>のもと取組を進めている。

この要領は、土木部所管の公共事業において、ゼロカーボンに資する取組を通じ「ゼロカーボン社会 熊本」の推進、並びに意識醸成を図ることを目的とする。

## 2 対象工事

熊本県土木部が発注する工事に適用する。

## 3 取組対象

「ゼロカーボン社会 くまもと」の対象は、「基本計画第4編分野別計画第1章」の4つの戦略<sup>※1</sup>のもと、ゼロカーボンに資する以下の取組<sup>※2</sup>とする。

①	環境対策型建設機械の活用 (低炭素型建設機械認定制度・燃費基準達成建設機械認定制度適合、電動建機)
②	軽油代替燃料の活用 (B5, GTL) ※(一社)日本建設業連合会 利用ガイドライン参照
③	ソーラーパネルによる電源活用 (現場事務所・現場機器)
④	現場内、現場事務所への移動手段の電動化 (電気自動車 等)
⑤	再生可能エネルギー電力への切り替え (再生可能エネルギー電力事業者からの電力供給)
⑥	その他

※1【戦略1】省エネルギーの推進 【戦略2】エネルギーシフト 【戦略3】電気のCO<sub>2</sub>ゼロ化  
【戦略4】その他のCO<sub>2</sub>の実質ゼロ化

### ※2 取組対象外項目

- i) STB認定、グリーン電力証書、Jクレジット等の企業認定や証書購入
- ii) 低炭素技術を用いた工法・材料
- iii) 使用量が少ないもの、他工事への転用が容易であるもの  
(なお、計画書提出時において、受発注者間において相応の効果が確認できる場合は除く)
- iv) 別途評定項目のあるもの

#### 4 実施方法

(1) 「ゼロカーボン社会 くまもと」を実施しようとする受注者は、取組対象を記載した計画書（別紙1様式）を協議簿とともに監督員に提出する。

なお、複数の取組について実施することを妨げるものではない。

(2) 監督員は、「ゼロカーボン社会 くまもと」に資することを確認し、協議簿により回答する。

なお、協議が整わなかった場合、受注者は別の取組を提出することができるものとする。

(3) 受注者は、取組を実施するとともに、実施状況がわかる資料（契約書、領収書、写真等）を保管する。

(4) 受注者は、工事完成時に(3)を報告書（別紙2様式）として取りまとめ提出する。

(5) 監督員は、報告書をもとに実施状況を確認する。

#### 附則

この要領は、令和6年4月1日から適用する。

# ゼロカーボン社会 くまもと 取組計画書

発注者  
工事番号  
工事名

受注者

印

## <計画>

(1件名)

**取組対象**

**具体的な取組内容**

<適用工種>

**期待される効果**

(2件名)

**取組対象**

**具体的な取組内容**

<適用工種>

**期待される効果**

(3件名)

**取組対象**

**具体的な取組内容**

<適用工種>

**期待される効果**

※「ゼロカーボン社会 くまもと」を実施する場合は、本計画書を協議簿とともに工事監督員に提出してください。



## ゼロカーボン社会 くまもと 取組計画書

発注者 熊本広域本部土木部工務課  
工事番号 熊広第1022-1-101号  
工事名 熊本天草線道路改築工事

熊本建設株式会社  
受注者 熊本市中央区水前寺6-18-1  
代表取締役 熊本 一郎



### <計画>

(1件名)

リストを選択

**取組対象** ①環境対策型建設機械の活用

**具体的な取組内容** 低炭素型建設機械認定制度適合機械の活用

<適用工種> 道路土工、法面工、軽量盛土工、排水構造物工

低炭素型建設機械認定制度適合のバックホウを使用する。

**期待される効果**

・従来機械よりも耐久性が高く、燃費削減によりCO2削減効果が期待できる。

(2件名)

リストを選択

**取組対象** ②軽油代替燃料の活用

**具体的な取組内容** B5燃料の使用

<適用工種> 道路土工、構造物工

土工掘削工に使用するバックホウの燃料をバイオディーゼル燃料(B5混合軽油)にする。

**期待される効果**

・B5混合軽油使用により、バイオディーゼル燃料5%分のCO2等の排出を削減できる。

(3件名)

リストを選択

**取組対象** ③ソーラーパネルによる電源活用

**具体的な取組内容** 現場休憩所へソーラーパネルからの電源供給

<適用工種> 全工程

現場休憩所にソーラーシステムハウスを活用する。

**期待される効果**

・ソーラーシステムハウスを使用することで、商用電力の消費量がなくなり、CO2等の排出を削減できる。

※「ゼロカーボン社会 くまもと」を実施する場合は、本計画書を協議簿とともに工事監督員に提出してください。

## <計画>

(1件名)

リストを選択

**取組対象** ④現場内、現場事務所への移動手段の電動化

**具体的な取組内容** 電気自動車の使用

<適用工種> 道路土工、法面工、軽量盛土工、排水構造物工

会社から現場及び現場内移動に電気自動車を使用する。

**期待される効果**

・現場と事務所との移動を電気自動車にしたことで、移動分のガソリン消費量が低減し、CO2等の排出を削減できる。

(2件名)

リストを選択

**取組対象** ⑤再生可能エネルギー電力への切り替え

**具体的な取組内容** 再生可能エネルギー電力業者からの電力供給

<適用工種> 道路土工、法面工、舗装工、排水構造物工、防護柵工、構造物撤去工、仮設工

現場への電力供給について、再生可能エネルギー電力を契約する。

**期待される効果**

・再生可能エネルギー電力を使用することで、発電時のCO2等の排出が削減できる。

※「ゼロカーボン社会 くまもと」を実施する場合は、本計画書を協議簿とともに工事監督員に提出してください。

# ゼロカーボン社会 くまもと 取組報告書

工 事 名

受注者

印

取組対象

取組内容

(説明)

(図面・実施状況写真)

※「ゼロカーボン社会 くまもと」を実施した場合は、本報告書を工事完成時に工事監督員に提出してください。

(実施状況の判る資料: 契約書、領収書等)